

「オープンスクール・ハートフルシンポジウム」での 施設体験学習報告会及び現場実習報告会

熊本県立荒尾支援学校

平成28年度オープンスクール・ハートフルシンポジウム

障がいの有無にかかわらず、すべての人が住みやすいハートフルな共生社会の実現を目指して取り組んできた「オープンスクール・ハートフルシンポジウム」が、7月1日に本校で行われました。

午前には学校説明や授業参観、就学相談や福祉行政や相談支援事業所、福祉サービス事業など11のポスターと16のパンフレットで情報提供をしていただきました。午後のハートフルシンポジウムでは『「共に輝く明日に向かって」～はたらく大人に育てるために～』というテーマで、第一部は、重複障がい学級の施設体験学習と高等部一般学級の現場実習について、頑張ったことや今後の課題などを発表しました。第二部では、本校卒業生の事例をもとに本校進路指導主事とNPO法人花梨の家わがんせ施設長である宮崎京子様との対談が行われ、保護者の立場、事業所の立場、相談支援員の立場から家事やお手伝いを通して「はたらく」意味を教えることや、人や組織の「役に立つ」よろこびを育てていくことについてお話がありました。

今回は、高等部重複障がい学級2年生による施設体験学習報告会と高等部一般学級3年生による現場実習報告会について紹介します。

高等部重複障がい学級2年生による施設体験学習報告会



写真を見ながら、教師の「楽しかったですか」の声かけに笑顔で返事をしたり、スイッチを押ししたりして報告することができました。

高等部一般学級3年生による現場実習報告会



実習先での様子を、動画も交えたスライドで説明し、成果や課題も一人一人報告することができました。

参加者約230名の前で、施設体験学習、現場実習に関する学習についての説明や、実習先、目標、成果や課題等について堂々と発表することができました。「自信を持った発表が素晴らしかった」「生徒が将来に向けて自分と向き合っていることが窺えました」等、好評を頂きました。報告会を通して、生徒は夢の実現に向けて自信や意欲を高め、本校の取組を地域の方々へ発信し理解・啓発につなげる大変有意義な機会となりました。